

は　じ　め　に

近年，核家族化や少子化，地域社会のつながりの希薄化が進む中，子どもたちの成長の糧となる生活体験や社会体験の機会が減少するとともに，子どもたちの基本的な生活習慣の乱れや他者への思いやり，生命尊重の心，自制心，規範意識，人間関係を形成する力の低下等の傾向が指摘されており，道德教育の一層の充実が求められています。

県教育委員会では，これまで，県内すべての子どもたちの「心の元気！」を育てるために，実践研究校を計画的に配置し，道德教育推進のネットワークを拡充するとともに，各市町が主体的に道德教育を推進するためのリーダーを育成してきたところです。

こうした中，平成20年3月に改訂された小・中学校学習指導要領では，改正教育基本法等を踏まえ，道德教育の目標の改善が図られるとともに，道德の時間の要としての役割の明確化，児童生徒が感動する魅力的な教材の充実，道德教育推進教師を中心とした体制づくりなど，多様な角度から道德教育の充実・改善が図られました。

このため，県教育委員会では，新学習指導要領やこれまでの事業の成果を踏まえ，平成21年度から「新学習指導要領対応事業」の一環として「心の元気を育てる道德教育充実事業」を実施し，地域の身近な素材を活用し，子どもたちの心に響く道德の授業が行えるよう「広島県道德教育指導資料」の作成に取り組んできました。

本書は，その第一部にあたる地域教材開発の手引であり，「先人の伝記」「自然」「伝統と文化」「スポーツ」を題材とし，地域の素材を活用して教材を開発するための手順（例）や事例等を掲載しています。

道德の時間における教材は，子どもたちが道德的価値の自覚を深めていくための手掛かりとして極めて大きな意味をもつものです。

ぜひ，本書を生かして地域の素材を活用した魅力的な教材の開発に挑戦し，子どもたちの心に響く道德の時間の授業を創造していただくことを期待しています。

最後になりましたが，本書の作成にかかわり，御指導いただいた多くの先生方，また，御尽力いただいた道德教育指導資料作成委員会委員及び分野別作成部会員の皆様方に対し，心から感謝を申し上げます。

平成22年3月

広島県道德教育指導資料作成委員会
委員長　藤田　美佐子